

# 第3期 地域福祉 保健計画

# 異世代交流・男性の活躍・健康づくり進む

## 区民の情(こころ)が生きるまち 南区

### 第3期計画で目指すこと 重点目標

- つながり・支えあい**  
日ごろから声を掛け合い、つながり・支えあいの関係をつくろう  
→地域のお祭りなどの行事を通して、子どもから高齢者まで、さまざまな世代のつながりを広げます  
→児童虐待の予防や見守りを強化し、子育てを支援するネットワークづくりのための会議を地域別に開きます
- 活躍の機会・参加の場**  
誰もが活躍できる機会と身近な参加の場をつくろう  
→子育て中の方や高齢者の方が気軽に集まれる場づくりを支援します  
→定年後、地域活動に「デビュー」する人を応援します
- 情報共有と災害時の備え**  
日常の情報共有を進め、災害時にも安心できる備えをしよう  
→子育てサロン等と地域が協力して防災訓練を実施します  
→障害児者が安心して避難できるスペースづくりの体験などを行います
- 健康づくり** 身近な活動を通して健康づくりを進めよう  
→健康で長生きできるためのウォーキングイベントなどを行います  
→高齢者が集まるサロンなどで健康づくり活動が行われるように支援します



「みなっち茶屋」で意見交換する参加者

南区は、高齢化、子育て... 世帯の孤立化など、生活に... 保健関係者・団体が力を合... 関する課題を多く抱えてい...

南区は、高齢化、子育て... 世帯の孤立化など、生活に... 保健関係者・団体が力を合... 関する課題を多く抱えてい...

南区は、高齢化、子育て... 世帯の孤立化など、生活に... 保健関係者・団体が力を合... 関する課題を多く抱えてい...

南区の中で誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指す「第3期南区地域福祉保健計画」(以下「第3期計画」)が昨年4月にスタートして約1年半が経過しました。第3期計画に掲げた目標に基づき、各地区では様々な取り組みが進められています。その中で今回は「異世代交流」「男性の活躍」「健康づくり」の3点について紹介します。

第3期計画は、「区全体計画」と「地区別計画」(16地区で策定)が両輪となつて進められています。2つの計画をつなぐ場として「南区地域福祉保健計画推進連携会議」(みなっち茶屋)を今年1月に開催。活動団体や行政職員ら約70人が集まり、「男性の地域参加」に関して活発な意見交換を行いました。

現在も各地区では第3期計画の重点目標達成を目指し、様々な活動が行われています。「つながり・支えあい」のきつかけとなる異世代交流、男性の活躍が光る地域活動「健康づくり」のイベントなどが盛んです。

しく主体性の発揮できるまち」「安全・安心なまち」「健康で笑顔あふれるまち」としました。

計画推進へ意見交換



南まつりで飲み物を販売

### 子どもがボランティア

井土ヶ谷地区 行事に参加

井土ヶ谷地区では約10年前から高齢者など、自宅での生活に不自由を感じている人を手助けする活動などを行う子どものグループ「ちよこっとボランティア」が活躍しています。

井土ヶ谷小、南中、時田

## 異世代交流でつながる

子どもからお年寄りまでがつながり支えあえる関係をつくろうと、異世代交流が進んでいます。

### 中村地区 七夕で子どもが願い事

中村地区では、地区社会福祉協議会が主催する「七夕フェスタ」を中村地域ケアプラザで毎年7月に行っています。ケアプラザを訪れることが少ない子どもや保護者に地域に目を向けてもらおうと始めたものです。子どもには短冊に願い事を書いてもらうほか、工作コーナーもあり、世代を超えて楽しく交流しています。



住民と対局する時中学生

### 中学生と将棋・茶道

時田地区 交流会で親睦深める

時田地区社会福祉協議会は時田中学校の生徒との交流会を2015年から続けています。

今年7月に時田コミュニティハウスで行われた交流会には、同校から茶道部と将棋部の生徒約40人が参加しました。

地区社会福祉協議会の栗田一伸会長は「今後、学校の周りで生徒に会った時にあいさつを交わせる関係になれば」と期待しています。

生徒と対局した男性は「しばらく指していた男性は、この日のために勉強してきました」と喜んでいました。将棋部部長の沢口優人さん(中3)は「自分より強い人もいて、普段の部活動の中では指されない手を知ることができました」と言います。

### 北永田地区 斎場に異世代交流サロン

地域にある葬儀社「セレモマイホール」の協力を得て、葬儀の利用が少ない「友引」の日に館内を利用したサロンを開催しています。銅板に絵を描く大人向けの講座のほか、夏には駐車場スペースで親子が楽しむプール遊びのイベントを実施。今後も異世代が楽しめる企画を行い、地域の絆を深めていきます。

### 子どもを通じ 3世代が交流

六ツ川地区 サロン「カーネーション」

六ツ川地区の3世代交流サロン「カーネーション」は5年前にスタート。第一火曜に0歳からの未就園の子どもと親、地域の高齢者らがコミュニティハウスに集まり、子どもは玩具遊びを、大人はお茶を囲んで情報交換や会話を楽しんでいます。会場では子どもが安全に遊べるように地域のボランティアが常駐。子育てについて、保護者がボランティアや高齢者などの“人生の先輩”に質問することも多くあります。サロンに通う母親は「地域の方がいるので安心して子どもを遊ばせられる」と話し、80代の女性は「子どもが歩み寄って来てくれることが嬉しい」と喜んでいました。



### 世代を超えて 札取り合う

永田みなみ台地区 百人一首の集い

永田みなみ台地区は団地内の集会所を使った「百人一首の集い」を毎月開いています。地区社会福祉協議会が企画し、毎回約20人が参加。盛り上がりを見つけた他地区の住民もやって来るそうです。参加者はグループに分かれ、札を取っていきます。夏休み中は、小学生や高校生も加わり、中には「上の句」だけで札を取る人の姿もありました。この日のために家で百人一首の練習をする人もいます。主催者側では「認知症予防にもつながれば」と話しています。



### 子どもと大人が 懐かしい遊び

堀ノ内睦町地区 みんなでチャレンジ

堀ノ内睦町地区では毎年夏休みに、懐かしい遊びを子どもと大人と一緒に楽しむ企画「みんなでチャレンジ」を行っています。今年も8月6日に睦地域ケアプラザで開かれました。輪投げやけん玉、お手玉などの遊びを大人が教えながら、小学生らが体験。輪投げは年齢別に得点を競う大会になっていて、上位に入った子どもにはお菓子がプレゼントされました。自らも華麗なけん玉の技を披露した地区社会福祉協議会の亀山一会長は「子どもと遊ぶ高齢者が楽しそうで良かった」と交流が生まれたことを喜んでいました。

